

公益財団法人 全国商業高等学校協会主催・文部科学省後援

第63回 ビジネス文書実務検定試験 (1. 11. 24)

第2級

速度部門問題

(制限時間10分)

試験委員の指示があるまで、下の事項を読みなさい。

〔書式設定〕

- 1行の文字数を30字に設定すること。
- プロポーショナルフォントは使用しないこと。

〔注意事項〕

1. ヘッダーに左寄せで受験級、試験場校名、受験番号を入力すること。
2. 問題のとおり、すべて全角文字で入力すること。
3. 長音は必ず長音記号を用いること。
4. 入力したものの訂正や、適語の選択などの操作は、制限時間内に行うこと。
5. 問題は、文の区切りに句読点を用いているが、句点に代えてピリオドを、読点に代えてコンマを使用することができる。ただし、句点とピリオド、あるいは、読点とコンマを混用することはできない。混用した場合はエラーとする。
6. 時間が余っても、問題文を繰り返し入力しないこと。

受験番号

第63回 ビジネス文書実務検定試験 (1.11.24)

第2級 速度部門問題 (制限時間10分)

首都圏では2020年に向けて、外国人を含めた観光客が急増するといわれている。その状況において、タクシー業界では需要の高まりが予想されているが、人材不足が問題である。これを解決するためには、採用面からの見直しが必要だ。	30 60 90 110
タクシー各社では、今まで応募が少なかった新卒や女性、複数の言語に対応できる外国人の採用に力を入れている。また、ある企業ではIT化を推進し、配車アプリを開発した。お客様の位置情報や料金の検索、オンライン決済ができて、運転手の負担軽減になる。多言語にも対応しているため、接客面でも役に立つ。	140 170 200 230 255
日本の運転手の接客スキルは、世界的にも質が高いといわれている。お客様のことを第一に考えた丁寧なサービスと、きめ細やかな気づきがある。業界では、この「おもてなし」の精神を維持することを重視している。	285 315 345 356
タクシーには、単なる移動の手段としてではなく、誰もが快適に利用できるサービスが求められている。運転手は、人を喜ばせながら、自己を成長させられる仕事だ。その魅力を理解して、応募する人が増えることを期待したい。	386 416 446 460